

平成 2 8 年度個別報告書

八洲学園大学生涯学習学部

学 科	生涯学習	職 名	准教授	氏 名	鈴木啓之
1. 教育活動					
1) 2 8 年度の担当授業科目 春期：S T 科目「障害児の理解と支援」「情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン」 秋期：S T 科目「医学一般」「不登校・ひきこもり特講」「障害児の子育てとしつけ」「医学一般」 教員免許更新講習：【夏開講】必修「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、選択必須「学校における危機管理上の課題」（2 コマ） 教員免許更新講習：【夏開講】必修「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、選択必須「学校における危機管理上の課題」（2 コマ） 2) 授業の創意・工夫 ・S T 科目「医学一般」については、社会福祉主事任用資格対象科目である一方で、当学に健康管理系の科目がないので、解剖学・生理学・病理学・臨床医学に予防医学を組み合わせたうえで内容を罹患率・死亡率の高い重大疾病に絞り、文系の受講者へのわかりやすさ・身近さを最優先とした。 3) 教科書の執筆 教科書は使用せず、全科目、オリジナルのスライドを作成し、講義に先立って事前配布しながら使用した。					
2. 研究活動					
1) 従事した研究内容 教育的内的状態評価法としての無侵襲な他覚的客観的評価を検討し、教育活動に供する。 2) 研究成果 心理的身体的不可の少ない PC 連動の簡易脈圧計を用いた、生理的生体変動計測システムの構築を 2 3 年度より継続して進めている。 3) 学会活動 日本特別支援教育学会会員、日本めまい臨床医学会会員、日本宇宙航空環境医学会会員、日本宇宙生物学会会員					
3. 学内活動					

1) 委員会活動

所属せず。

2) その他

・八洲学園大学国際高等学校教員との兼任教員として、沖縄に所在する高校での6日から10日の合宿制短期集中スクーリングに5月、9月、11月、12月、2月の計5回参加し、多動症児・アスペルガー症候群児、高機能自閉症児とその保護者への相談支援を実施した。

4. 社会活動

講演活動

一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部講演会&勉強会講師

日時：平成28年11月6日

会場：八洲学園大学国際高等学校

講演題名：「発達障害児の不登校リスク ー軽い子ほどリスクが高い！ー」

同

日時：平成28年5月23日

会場：八洲学園大学国際高等学校

講演題名「国の不登校施策の転換 ー調査研究協力者会議答申をうけてー」